

# 令和5年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	264	学校名	仙台市立館中学校	校長名	中田 晋
------	-----	-----	----------	-----	------

## 1 取組のタイトル, テーマ

### 『 身近なところから取り組もう

### ～環境整備ボランティア活動～ 』



## 2 取組の紹介

### (1) 『 館中チリトリーズ 』

今年度、環境委員会がメンバーを募り、環境整備のためのボランティア活動を再スタートさせました。ボランティアの団体名はコロナ禍以前に先輩方が取り組んでいた名前を受け継いで『館中チリトリーズ』としました。10月の運動会前には、校庭のグランド整備のために「草むしり隊」を募集し、運動会の成功に大きく貢献しました。また、秋には、「落ち葉ひろい隊」を募集し、校地内外の落ち葉を集めたところ、ゴミ倉庫に入りきれないほどの大量の落ち葉を集めることができました。参加者にプレゼントされるスタンプカードや缶バッジも好評です。生徒の自主性・主体性を育む、素敵な活動となっています。



### (2) 『 子どもも大人もみんなで楽しくボランティア 』

11月26日(日)、コロナ禍で活動を自粛していた「子どもも大人もみんなで楽しくボランティア」が4年ぶりに開催されました。館地区社会福祉協議会と館中学校区健全育成協議会主催のこの行事は、館地区の伝統的な活動です。本校からも生徒と職員が参加し、地域の方々と触れ合いながらバス通りの沿いの歩道の落ち葉を集めました。今後も、「住み続けられるまちづくり」の担い手として、地域の環境に気を配っていききたいと思います。



## 3 取組の成果 (生徒の変容)

コロナウイルス感染症対策の規制が緩和され、地域の方々と協働で行う活動が再開しました。6月に連合町内会と合同で行った地域防災訓練に参加した生徒たちは、地域の一員として自分たちの力が求められていることを改めて実感しました。その後も、町内のお祭りに参加したり、運動会や授業を地域の方々に公開したりするなど、地域の方々と一緒に活動する機会が増える中で、生徒たちは「地域のために、学校のために、身近なところから、できるところから取り組んでいこう。」という気持ちが強くなりました。上記で紹介した活動だけでなく、公園の清掃ボランティアや日頃の清掃活動、リサイクル活動などにも意欲的に取り組んでいます。